

令和 5 年度春季二大会配布資料①

(来場者用)

〈目次〉

1. 大会要項
2. ガイドライン
3. 申し合わせ事項・大会注意事項
4. 会場略図
5. 座席表
6. 喫煙に対する指導・徹底のお願い
7. 入場規制へのご協力のお願い

令和 5 年度

第 69 回 関 東 学 生 剣 道 選 手 権 大 会

第 55 回 関 東 女 子 学 生 剣 道 選 手 権 大 会

大 会 要 項

1. 名 称 第 69 回 関 東 学 生 剣 道 選 手 権 大 会
第 55 回 関 東 女 子 学 生 剣 道 選 手 権 大 会
2. 日 時 ・ 会 場 選 手 権 大 会 令 和 5 年 5 月 14 日 (日) 会 場 日 本 武 道 館 9 時 15 分 開 会
女 子 選 手 権 大 会 令 和 5 年 5 月 21 日 (日) 会 場 墨 田 区 総 合 体 育 館 10 時 開 会
3. 主 催 関 東 学 生 剣 道 連 盟
4. 後 援 東 京 都 毎 日 新 聞 社 公 益 財 団 法 人 日 本 武 道 館 一 般 財 団 法 人 東 京 都 剣 道 連 盟 関 東 学 連 剣 友 連 合 会
5. 試 合 種 目 男 子 個 人 戦 女 子 個 人 戦
6. 出 場 人 数 (1) 選 手 権 令 和 4 年 11 月 末 日 登 録 人 数 10 名 まで に 3 名 の 出 場 枠 を 与 え る。
以 下 10 名 毎 に 1 名 の 割 合 で 出 場 枠 を 与 え る。
(2) 女 子 選 手 権 令 和 4 年 11 月 末 日 登 録 人 数 6 名 まで に 3 名 の 出 場 枠 を 与 え る。
以 下 3 名 毎 に 1 名 の 割 合 で 出 場 枠 を 与 え る。
7. 出 場 資 格 出 場 選 手 は、関 東 学 生 剣 道 連 盟 に 個 人 登 録 し て い る 学 生 で 登 録 回 数 4 回 まで (6 年 制 大 学 及 び 6 年 制 学 部 学 科 は 6 回、年 制 短 期 大 学 及 び 3 年 制 学 部 学 科 は 3 回、短 期 大 学 は 2 回 まで) の 者 に 限 る。但 し、在 学 中 に 学 生 剣 道 大 会 以 外 の 各 職 域 大 会 に 出 場 し た 者 の 出 場 は 認 め な い。
8. 試 合 方 法 (1) 選 手 権 トーナメント方式により行う。試合時間 4 分、3 本勝負とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行う。
延長戦は 3 分で区切り、3 回毎に休憩をとる。
<全日本出場者> ベスト 32 に勝ち残った選手と全日本出場決定戦で勝ち残った 28 名計 60 名の選手が、第 71 回全日本学生剣道選手権大会 [令和 5 年 7 月 2 日 (日) 会場 日本武道館] の出場資格を得る。
(2) 女子選手権 トーナメント方式により行う。試合時間 4 分、3 本勝負とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は 3 分で区切り、3 回毎に休憩をとる。
<全日本出場者> ベスト 16 に勝ち残った選手と全日本出場決定戦で勝ち残った 12 名計 28 名の選手が、第 57 回全日本女子学生剣道選手権大会 [令和 5 年 7 月 1 日 (土) 会場 日本武道館] の出場資格を得る。
9. 試 合 ・ 審 判 規 則 全 日 本 剣 道 連 盟 剣 道 試 合 ・ 審 判 規 則、剣 道 試 合 ・ 審 判 細 則 ・ 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 が 収 束 す る ま での 暫 定 的 な 試 合 審 判 法 並 び に 本 大 会 申 し 合 せ 事 項 に 準 じ て 行 う。
10. 審 判 員 構 成 関 東 学 生 剣 道 連 盟 加 盟 大 学 卒 業 生 を 以 て 構 成 す る こ と を 原 則 と す る。
11. 表 彰 (1) 選 手 権 優 勝 ・ 準 優 勝 ・ 3 位 (2 名) ・ 敢 闘 賞 (4 名)
(2) 女 子 選 手 権 優 勝 ・ 準 優 勝 ・ 3 位 (2 名) ・ 敢 闘 賞 (4 名)
12. 選 手 登 録 令 和 5 年 4 月 7 日 (金) ~ 11 日 (火) 24 時 まで オ ン ラ イ ン 登 録
13. 抽 選 会 令 和 5 年 4 月 22 日 (土) 卒 業 生 常 任 幹 事 立 ち 合 い に よ る 責 任 抽 選 と す る。
14. 監 督 及 び 代 表 者 会 議 令 和 5 年 5 月 7 日 (日) 15 時 男 女 大 会 と も に オ ン ラ イ ン に て 実 施
15. そ の 他 ○ 有 観 客 と す る が、女 子 大 会 に お い て は 入 場 制 限 を 行 う。
○ 今 大 会 は、試 合 を ラ イ ブ 配 信 す る 予 定。
16. 問 い 合 わ せ 先 関 東 学 生 剣 道 連 盟
〒102 - 0091 東 京 都 千 代 田 区 北 の 丸 公 園 2-3 日 本 武 道 館 学 生 武 道 ク ラ ブ 内
E-MAIL : kantougakuren2020@yahoo.co.jp

以上

令和5年4月26日

第69回関東学生剣道選手権大会
第55回関東女子学生剣道選手権大会

大会日程

第69回関東学生剣道選手権大会
令和5年5月14日(日)
会場 日本武道館

8:00 開場

選手・監督・主務・役員・審判員入場 8:00～
観戦者入場(学生・OB・保護者) 8:30～
審判会議【中道場棟1F控室1. 2. 3】 8:30～8:50
ウォーミングアップ(大道場) 8:00～8:50
ウォーミングアップ(中道場棟地下2F) 8:30～大会終了時

試合における諸注意 9:00～
(出場選手・監督・審判員へ向けて)

9:15 開会

会長挨拶・審判長注意及び優勝杯返還等
試合開始 9:50～
ベスト32トーナメント 16:30～
及び全日本出場決定戦
表彰式 18:00～

18:30 終了(予定)

全出場者 434名
(昨年 440名)

第55回関東女子学生剣道選手権大会
令和5年5月21日(日)
会場 墨田区総合体育館

8:15 開場

選手・監督・主務・役員入場 8:15～
審判員入場 8:45～
観戦者入場(女子学生・保護者) 9:15～
審判会議【会議室B・C】 9:15～9:40
ウォーミングアップ(メインアリーナ) 8:35～9:35
※ウォーミングアップは前半組と後半組に分けて行う。

前半組(加盟大学番号1～44) 8:35～9:05

後半組(加盟大学番号45～109) 9:05～9:35

試合における諸注意 9:45～
(出場選手・監督・審判員へ向けて)

10:00 開会

会長挨拶・審判長注意及び優勝杯返還等
試合開始 10:35～
ベスト16トーナメント 17:05～
及び全日本出場決定戦
表彰式 18:15～

18:45 終了(予定)

全出場者 450名
(昨年 455名)

関東学生剣道連盟大会開催ガイドライン

該当大会：第 69 回関東学生剣道選手権大会
第 55 回関東女子学生剣道選手権大会

関東学生剣道連盟

1. 基本的な考え方

- (1) 関東学生剣道連盟が主催する大会（以下、「大会」）における新型コロナウイルス感染症の予防については全日本剣道連盟『主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン』（令和3年8月2日付）を基本とする。
- (2) 関東学生剣道連盟大会開催ガイドライン（以下「本ガイドライン」）に基づき、感染予防を最大限に行うとともに、万が一感染者が発生した場合には、適切な処置を実践できる体制を構築することを目的とする。
- (3) また、本ガイドラインにより、選手及び大会関係者に対し、感染予防と発生した場合の適切な対応を周知徹底することに努める。
- (4) 本ガイドラインの対象者は大会に参加する下記の者とする。（以下「大会関係者」という。）
 - ①出場選手
 - ②監督（代理監督・監督代行）
 - ③主務
 - ④審判員
 - ⑤大会役員（会長、副会長、名誉顧問・顧問、参与、大会委員）
 - ⑥学生実行委員
 - ⑦関東学生剣道連盟（以下「学連」という。）が事前に許可した者（学生係員及び報道関係者を含む）
 - ⑧観戦者（応援学生、選手の保護者、参加大学のOB、OGに限る。）

2. 本ガイドライン制定の前提

- (1) 学連は、政府・行政・各自治体及び公益財団法人全日本剣道連盟の方針を尊重し、前提としつつ、そのうえで剣道の特性を考慮した各種対応を実施する。
- (2) 学連は、開催する自治体の剣道連盟に開催要領について事前に相談を行い、了承を得たうえで各種対応を実施する。
- (3) 学連は、感染症に関する専門家の意見を尊重し、十分な意見交換を行う。今後、政府や各自治体、専門家から、新しい見解が示された場合は、随時、本ガイドラインの見直しを行う。
- (4) 学連は、本ガイドラインの内容については、大会関係者全員に周知し、意識・知識・行動を統一し理解と協力を要請する。
- (5) 大会関係者は、次の事項を感染予防（飛沫感染予防・接触感染予防）のための基本的行動とする。
 - ①不要不急の外出を控える。
 - ②3密（密集・密閉・密接）を避ける。
 - ③手洗い・消毒、フィジカル・ディスタンスの確保を励行する。
 - ④窓などの開放による室内の積極的な換気を励行する。
 - ⑤健康な体を維持するため、規則正しい生活を送る。
- (6) 大会関係者に対し、飲食に関し、以下のとおり特別に注意喚起する。
 - ①大会10日前より複数での飲食は極力避ける。
 - ②やむを得ず複数で飲食する場合は、同じ方向を向いて食事するものとする。
- (7) 大会関係者の家族や近親者、報道各社の記者やスタッフにも、本ガイドライン

の趣旨の徹底について、理解と協力を求める。

3. 大会関係者の日常生活における感染予防

大会関係者は、普段の生活の中で、最大限の感染予防に努め、特に以下の点を遵守する。また、その家族、近親者においても協力を求める。

- (1) 不要不急の外出をしない。
- (2) 人との接触の機会を減らす。
- (3) 乗り物等の窓を開けて換気し、会話は最小限とし、移動する交通機関において密になる状況は避ける。
- (4) 移動前後には必ず、手洗いと手指の消毒、うがいを行う。
- (5) 海外への渡航は禁止する。海外から渡航した人との面会も、入国日から14日間は禁止する。

4. 予防策の実施

- (1) 手洗い・消毒・うがいの実施
外出先から帰宅した際は、入室後すぐに手洗い・うがいを念入りに行う。
- (2) 屋内の常時換気
マイクロ飛沫が、屋内に長時間滞留することのないよう、窓やドアなどを可能な限り開放し、換気扇や扇風機等の積極的な使用により、空気が十分に流れるようにする。
- (3) 体温と体調の管理
 - ①大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時に体温を計測し、健康観察を行うこととする。
 - ②次の症状の有無を、毎日、管理し、感染予防・健康維持に役立てる。
発熱(37.5度以上)、咽頭痛・咳・嗅覚異常・味覚異常・強い倦怠感・その他の症状(頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等)
- (4) 大会関係者は、発熱や咳、倦怠感等の特有症状を認めた場合には、医療機関の受診を速やかに行うこととする。
- (5) クラスター発生場所や3密になる場所には絶対に近づかない。

5. 新型コロナ感染症が疑われる場合の対応

- (1) 体温が37.5度以上の場合
大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時の検温で、37.5度以上であった場合および前述の症状が見受けられた場合には、医療機関を受診し、PCR検査あるいは抗原検査を受検する。検査結果が陰性であれば、出場若しくは大会参加を可能とする。
- (2) 37.0度以上の体温が2日間続いた場合
大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時の検温で、37.0度から37.4度が2日連続で続いた場合も、医療機関を受診し、PCR検査あるいは抗原検査を受検する。検査結果が陰性であれば、出場若しくは大会参加を可能とする。
- (3) 大会前の2週間以内に2回陰性の場合
大会前の2週間以内にPCR検査あるいは抗原検査を2回受検し、2回とも検査結果が陰性の場合、37.0度以上になっても平常範囲内であるとして、PCR検査・抗原検査の受検は不要とし、(1)に該当しない限り出場若しくは大会参加を可能とする。
- (4) 他の病気が明らかな場合
37.0度以上であって、既往歴等より他の病気の可能性が高い場合は、まず掛かりつけの病院を受診し、発熱の原因が明確な場合は、PCR検査・抗原検査は不要とし、出場若しくは大会参加を可能とする。

(5) 原因が断定できない場合

原因が断定できないときは、PCR検査あるいは抗原検査を受検し、検査結果が陰性の場合、出場若しくは大会参加可能とする。

6. 大会関係者が罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

(1) 医師より罹患もしくは罹患疑いと診断された場合は、医師・保健所の指示に従って対応する。

(2) 学連事務局へ至急連絡し、連盟は感染症の専門家に相談し、指示を仰ぐ。

(3) 大会会場への入場は禁止する。ただし、PCR検査または抗原検査において2回続けて陰性の判定が出たことを確認した場合はこの限りではない。

(4) 大会後に感染が発覚した場合の対応

①大会終了後7日間以内に感染が発覚した大学は、学連事務局へ連絡する。

②学連は、大会会場及び保健所に連絡をし、濃厚接触者の範囲等を確認し、該当大学に直ちに連絡する。

③学連は、全日本学生剣道連盟及び全日本剣道連盟並びに大会会場の剣道連盟に報告する。

④感染が発覚した大学は、全日本剣道連盟の感染報告事項を遵守し、「PCR陽性者が出た場合、同じ稽古に参加していた人たち（見学者を含む）には全員、PCR検査あるいは抗原検査を受けるように指示する。そして、その結果を全剣連の新型コロナ報告システムを用いて報告する。

(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdTeD0AC0ehwGm1_EQ5zv0H9rN_ZXQiS2NGrVODxIRTKhFGVw/viewform)

7. 同居の家族等が罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

(1) 保健所により、大会関係者が同居家族等、感染者の濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従う。

(2) 当該者が濃厚接触者ではないと判断された場合は、対象となる同居家族等とは居住を別にすることが望ましい。

(3) 当該者が濃厚接触者ではないと判断された場合も、当人によるPCR検査または抗原検査を行い、陽性の場合には前述(1)の対応を行う。

8. 主催者対応

(1) 大会関係者は、大会会場に来場する際、マスクの着用は個人の判断とする。

(2) 大会会場入口にて検温を実施し37.5度以上あるものは入場させない。

(3) 大会会場入口に消毒液を設置し、入場時に消毒を徹底させる。

(4) ドアは可能な限り開放し風通しを確保する。

(5) 外気からの風通しを十分に確保できない箇所は、空調の強化のほか窓や入り口を開放するなど、空気が十分に流れるような対策を実施する。

(6) 更衣室はスペースを確保し、間接的な接触を解消できるようにする。

(7) 更衣室は、ドアや窓を開け、風通しを確保する。

(8) トイレには消毒液を設置する。

(9) 待機場所では、選手がフィジカル・ディスタンスを保てるよう座席の間隔が取れるよう指定する。

(10) 大会関係者の昼食は、同一方向を向いて行う事とし、相互に十分な距離をとって食事するよう場所の指定を行う。

(11) 使用備品（マイク等）は、使用する度に消毒する。

(12) 報道関係者には事前に登録制とし、当日入場時に入場許可書を発行する。

9. 竹刀検査方法

- (1) 検査は、竹刀検査所にて行う。
- (2) その他、大会要項及び竹刀検査要領を参照する。

10. 大会当日の注意

- (1) 大会役員・学生実行委員・学生係員のマスクの着用は個人の判断とする。
- (2) 大会役員・学生実行委員・学生係員は必要以上に選手と接触しないようにする。
- (3) 声援は、飛沫感染や濃厚接触の恐れがあるため、禁止し注意喚起する。

11. 大会当日の各参加大学の注意

- (1) 時間に余裕を持って行動する。
- (2) 大会会場には、速やかに入場し、試合終了後は速やかに退場すること。
- (3) 大会会場への入退場については、密を避けるため各大会注意事項で示す指定した方法で行うこと。
- (4) 更衣は可能な限り小人数で行い、会話はしないで時間短縮に努める。
- (5) 更衣室は更衣のみとし、更衣が終わったら速やかに退出する。
- (6) 観覧席の各大学指定席を待機場所とする。
- (7) 各大学は指定席にて待機し、不必要に動かない。試合終了後は速やかに指定席に戻る。
- (8) 食事は、指定席で行い、それ以外で食事をしない。
なお、ゴミ等は各自で持ち帰ること。

12. 試合会場での注意

- (1) 試合会場には、選手・監督（代理監督・監督代行）・主務のみが入場できる。
- (2) 必要以上に他人と接触しない。

13. 試合の注意

- (1) 選手は、面マスクまたはシールドを着用する。面マスク及びシールドを着用することも可能。
- (2) 審判員はマスクを着用しない。ただし控え席でのマスクの着用は個人の判断とする。
- (3) マスクは、口と鼻を確実に覆う。ただし、持病等により鼻を出す必要がある場合は事前に届け出ること。
- (4) シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。
- (5) その他、大会要項を参照。

大会申し合わせ事項

関東学生剣道連盟

1. 選手登録について

- ①大会に出場する選手は指定された期日までに選手登録しなければならない。
- ②不正登録により選手資格を得た者はこれを取り消す。

2. 選手登録の変更について

登録選手の変更は、抽選会前日の16時までに所定の選手変更届の提出をもって認める。
(部長、監督の署名・捺印の上、PDF ファイルをメールにて送信すること。)

3. 抽選会について

今大会の抽選は、大会実行委員による抽選とし、卒業生常任幹事立ち会いによる責任抽選とする。

4. 名札について

出場する選手は、大学名及び個人名を記入(はっきりと読める字体)した正規の名札を着用すること。また、同一大学に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の一文字をいれること。なお、これに違反する選手が発覚した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数および既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

5. 竹刀・鏢について

- ①所定の時間内に竹刀検査所において竹刀検査を受け、『検査済シール』を貼付した竹刀のみ使用を認める。(検査済シールを貼付していない場合は規格外竹刀・不正竹刀使用とする)
- ②試合開始前の検査は、一人3本(二刀の場合は大小各3本)までとする。なお、柄に大学名と氏名のみを明記し、それ以外の明記されたものは検査対象外とする。
- ③中結いの位置は、竹刀の剣先より全長の約4分の1の場所に固定する。
- ④規格外竹刀・不正竹刀の使用者は、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。
- ⑤規格外竹刀は、日本武道館・墨田区総合体育館ともに本部横にて受け取る。
- ⑥鏢は、皮革又は化学製品の円形のものとし、直径は9センチメートル以下とする。また、鏢止めを必ず使用し、鏢を正しく所定の位置に固定する。

6. タビ・サポーター等の使用について

- ①使用に際しては、医療上必要と認められる場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。
- ②使用者は、タビ・サポーター等使用許可所にて所定の使用許可証に押印を受ける。なお、使用できるものは布製のものとする
- ③予め使用品を着装した状態で、使用許可証を**試合前に**当該試合場の**審判主任に提示**し、許可を得ることとする。
- ④検査時間外に新たに必要になった場合は、当該試合場の審判主任の許可を得ることとする。
- ⑤タビ・サポーター等を許可なく使用した場合は不正用具使用者として取り扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数および既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

7. 監督及び代表者会議について

令和5年5月7日(日)15時~男女ともにオンラインにて開催する。大会当日は選手と監督は開会式に参加すること。

8. 代理監督について監督不在の場合、代理監督をおくことができる。但し、代理監督は本部に届けられている者に限る。

9. 選手の付き添いについて

- ①監督及び代理監督、監督代行、主務のいずれか1名のみとする。
(IDカードをつけていないものは試合会場への入場を禁止する。)
- ②各大学のIDカード枚数は、別紙「春季二大会 IDカード配布・返却について」において参照。

10. 用具・着装について

- ①面紐の長さは、結び目から40センチメートル以下とし、違反者に対しては切断する。
- ②面紐の結び目の位置は、目の後方の後頭部中央部分とする。上過ぎる又は下過ぎて安全性に支障があると判断した場合はつけ直しをする。
- ③剣道着の袖の長さは、「肘」が完全に隠れて袖から露出しないものとする。但し、袖が小手ぶとんにかからない程度とする。
- ④頭髮が長い場合は、髪を束ねて、背中を目印に掛からないようにする。
- ⑤ミサンガ、パワーバランスなどの剣道に必要なものは身につけない。

11. 延長戦は3分で区切り、3回毎に審判長・審判主任の指示により、休憩時間を取る。選手は立ったままおさめ控え席で面を取り、休憩を取る。その間、監督からの指示等は禁止する。5分経過後、審判主任の指示により試合を再開する。

12. 大会要項並びに大会申し合わせ事項等の一部に違反し、当連盟が不適格とみなした選手は、その時を以て本大会の出場を停止する(既得本数、既得権は認めない)。なお、出場停止となった選手の対戦者は不戦勝とする。

以上

大会注意事項

関東学生剣道連盟

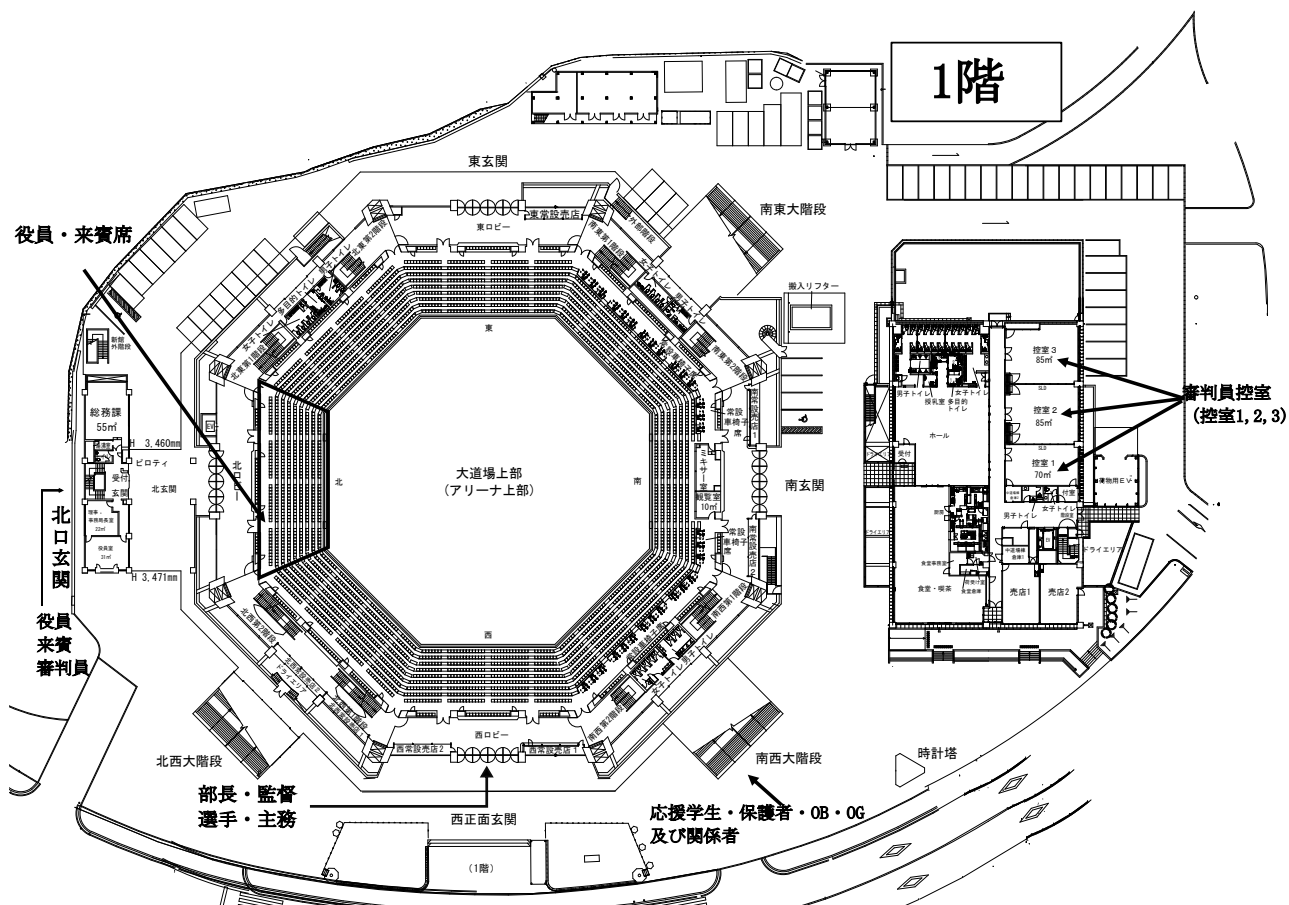
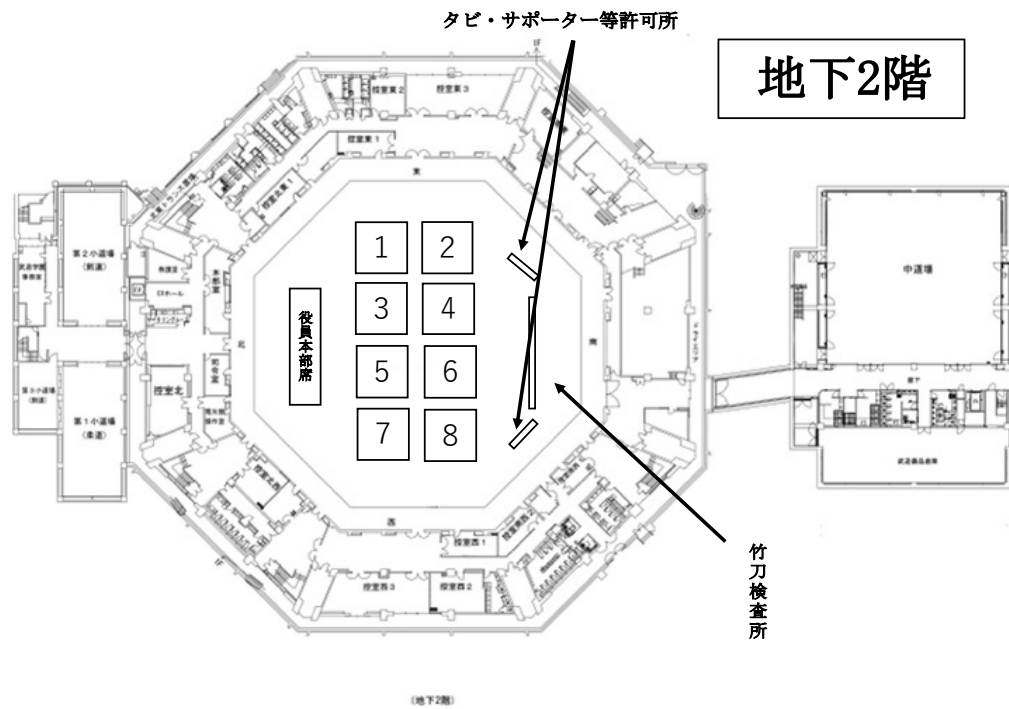
1. 男子大会は制限を伴わない有観客試合とする。
女子大会は制限付きの有観客試合とし、選手・主務・部長・監督（代理監督・監督代行）
出場大学の女子部員・出場選手の保護者以外の入場は認めない。
2. 入場時にはフィジカル・ディスタンスをとり、検温を受け、手指消毒する。
3. 剣道用具等確認証は主務が入場時、受付に提出する。
4. 日本武道館では、選手・主務・部長・監督（代理監督・監督代行）は西口、役員・来賓・審判員は北口、
観客は南西口において入退場を行うものとする。
墨田区総合体育館では、選手・主務・部長・監督（代理監督・監督代行）・女子部員・保護者は2階、役員・来賓・審判員は1階から入退場を行うものとする。
また、館内にある階段はすべて左側通行とする。
5. 選手及び監督（代理監督・監督代行）は開会式に必ず参加し、無断欠席は認めない。
6. 大会の進行を円滑にする為、選手は全員開会式5分前までに指定の場所に整列を完了すること。
7. 開会式・閉会式、式中は静粛にすること。
8. 関東学生剣道連盟が主催する大会における撮影、撮影したデータの取り扱いについて、
次のとおりとする。
 - (1) 大会会場において、個人利用目的で写真、動画等の撮影を行うことは差し支えない。
撮影時は大会の運営を妨げないこと。また、観客等に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
但し、試合場内での写真、動画等の撮影は原則禁止する。
 - (2) データ（写真、動画等）の取り扱いについては、有償、無償に関わらず不特定多数の者に
インターネット上やその他の方法で公開もしくは頒布することを禁止とする。
9. 日本武道館並びに墨田区総合体育館の入場制限を遵守し、三密を防ぐため敗退した選手は
速やかに退館し帰宅する。但し、全日本学生剣道選手権大会・全日本女子学生剣道選手権大会に
出場決定した選手は閉会式に参加する。
10. 竹刀検査は試合前に行う。
11. 声援は禁止する。
12. 館内でのフラッシュ撮影等は禁止する。
13. 試合場へは、選手及び役員・監督等所定のIDカードをつけた者以外の入場を禁止する。
14. 指定された席以外のロビー・売店前通路等での場所取りは一切禁止する。
15. 日本武道館・墨田区総合体育館ともに館内全面禁煙であり、指定喫煙場所以外での喫煙は
一切禁止する。
16. 館内のコンセント使用は一切禁止する。（使用している場合は没収する）
17. 日本武道館の廊下を裸足で歩かないこと。
18. 事前に指定する席以外の席取りは認めず、間隔を開けて着席する。
19. 今大会において部旗掲示はしない。

20. 更衣室での飲食は禁止する。
21. ゴミ等は必ず持ち帰ること。
22. 鞆袋を持参し、持ち帰ること。
23. 違法駐車に対しては厳しく対処する。
24. 車道、歩道での待ち合わせは禁止する。
25. 貴重品・手荷物等については館内のコインロッカーを利用する等、各自責任をもって管理すること。
26. 大会開催中の盗難・紛失に関しては、当連盟は一切責任を負わない。
27. 大会終了後は、会場入口及び敷地周辺では停滞しないよう、速やかに解散すること。

**※大会要項・申し合わせ事項・注意事項を遵守しない大学に対しては、
関東学生剣道連盟主催の次大会への出場を停止するなど厳正に対処する。**

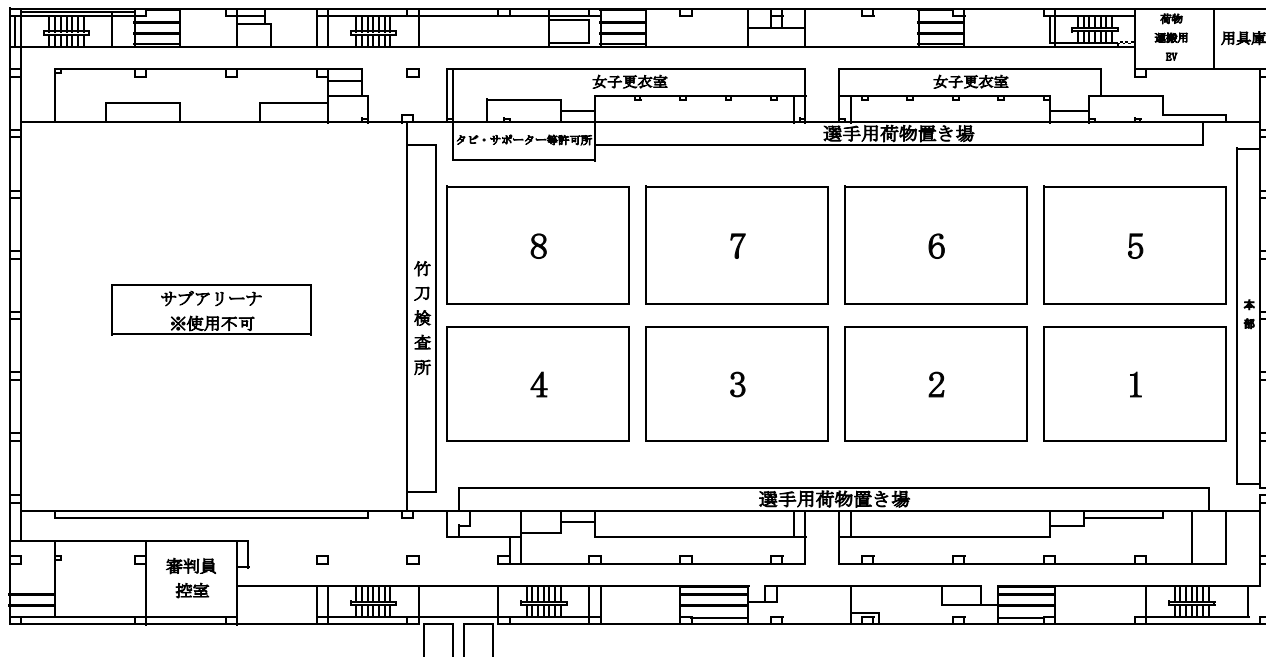
以 上

第69回関東学生剣道選手権大会 会場略図

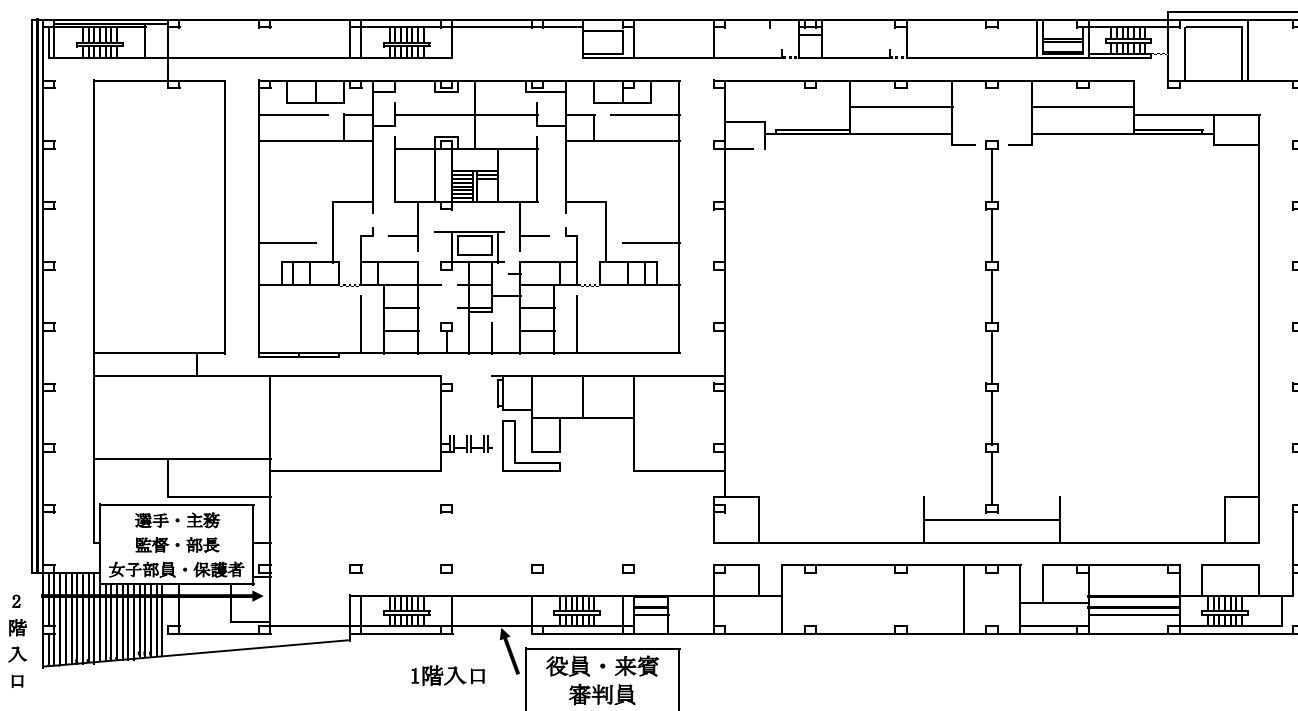


第55回関東女子学生剣道選手権大会 会場略図

3階

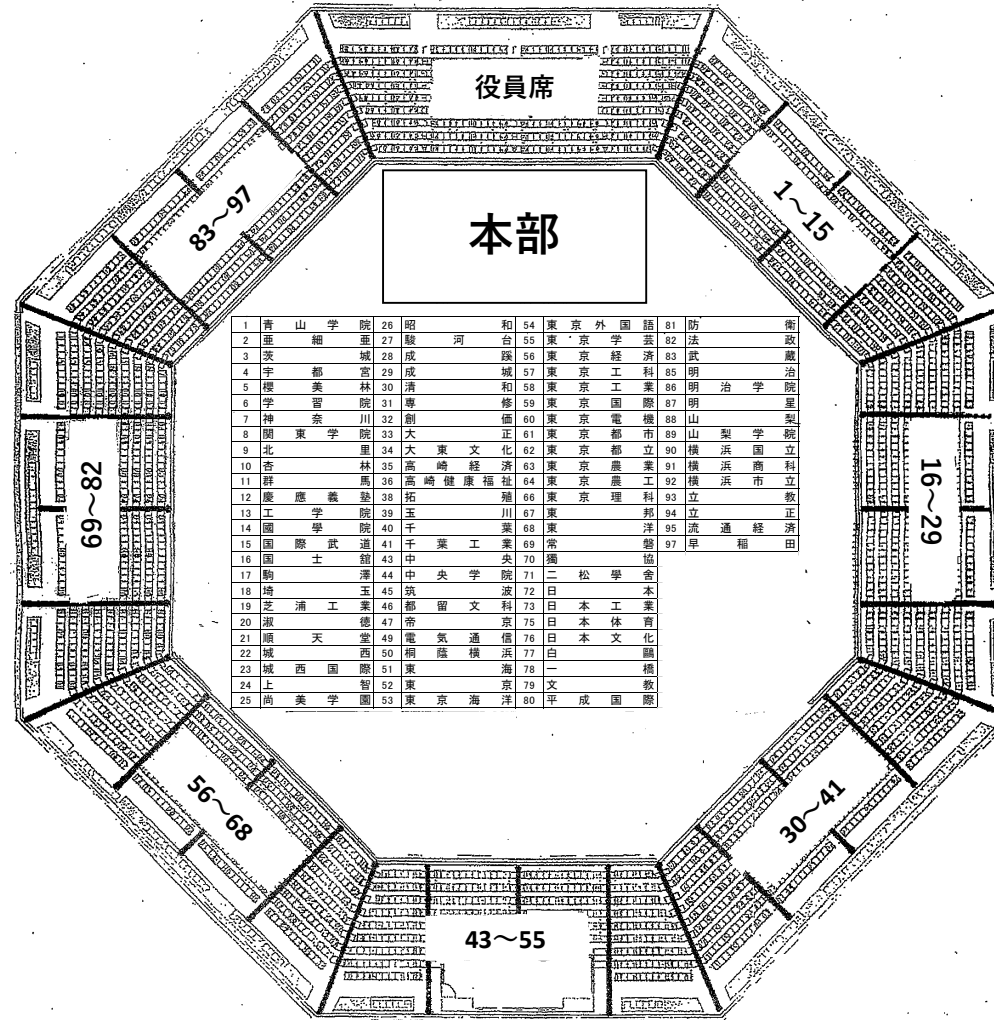


2階



日本武道館 (1階)

※1階席：選手・主務・部長・監督（代理監督、監督代行）・選手の保護者・OB、OG
 2、3階席（座席指定なし）：応援学生・選手の保護者・OB、OG



令和5年3月2日

加盟大学剣道部
部長・監督 殿
主将・主務 殿

関東学生剣道連
会長 佐藤 成明

喫煙に対する指導徹底のお願い

標題の件につきまして、日本武道館、並びに墨田区総合体育館は館内全面禁煙となっております。

各大学の部長・監督・主将・主務におかれましては、くれぐれも喫煙指定場所以外では喫煙しないよう、喫煙マナーに関して下記の指導徹底をよろしくお願いいたします。

なお、令和5年度に喫煙マナー違反が発生した場合は令和6年度以降の全面禁煙措置を講じることになりますので、予めご承知おきください。

記

喫煙指定場所

日本武道館 1カ所
東玄関前脇の一部

墨田区総合体育館 1カ所
錦糸公園指定喫煙所

【注意事項】

○日本武道館

- 注意1. 正面西口玄関前駐車場トイレ付近での喫煙厳禁。(北の丸公園管理事務所管轄)
- 注意2. 南口玄関喫煙所路面に吸い殻を捨てない。必ず吸い殻入れに捨てること。

○墨田区総合体育館

- 注意1. 喫煙所周辺での喫煙厳禁。必ず指定喫煙所内で喫煙すること。

以上

加盟大学剣道部
部長・監督 殿

令和5年3月2日

関東学生剣道連盟
会長 佐藤成明

入場者規制へのご協力をお願い

女子大会におきましては、東京都の「イベント開催時にあたっての留意事項」により、制限付きでの有観客開催といたします。

各大学の選手、部長及び監督（代理監督）、監督代行、主務、女子部員および出場選手の保護者のみの参加とさせていただきますので、ご協力よろしくお願ひします。

なお、男子大会は制限を伴わない有観客試合といたします。

会場施設利用にあたっての諸事情をご理解の上、各加盟大学におかれましてはご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上